

議題1 第6次計画期間からの事務事業評価進捗管理(4事業)

番号	事業名	担当課	担当課進捗状況	専門部会評価
1	子どもひろば事業(直営事業)	子ども政策課	直営の子どもひろば(えにわ・しままつ)について、直営の子育て支援センターと併せて、プロポーザルによる事業者選定を行い、令和6年度から民間委託を実施予定。	完了 民間委託の手法の検討を終え、次年度から民間委託することとなったため。
2	子育て支援センター事業	子ども政策課	直営の子育て支援センター(柏陽・島松・恵庭)については、直営の子どもひろばと併せて、プロポーザルによる事業者選定を行い、令和6年度から民間委託を実施予定。	完了 民間委託の手法の検討を終え、次年度から民間委託することとなったため。
3	窓口サービス改善検討	各窓口担当課及び情報政策課	令和5年度よりキャッシュレス決済を会計課、市民課、債権管理課で運用開始。また令和5年度中に市民課証明書発行業務で「書かない窓口」を導入予定。あわせて窓口担当課によるワーキング会議を開催しワンストップ化についても検討していく。	完了 今年度よりキャッシュレス決済は会計課、市民課、債権管理課で導入済み。また、市民課において書かない窓口も導入予定のため。
4	自治活動交付金の見直し	生活環境課	自治活動交付金の制度見直しに向け、必要な施策や事業などを検討するにあたり実施した町内会・自治会に関するアンケート調査及び町内会・自治会への支援策に関する道内他自治体調査の結果を踏まえ自治活動交付金のあり方に関する素案を作成し、町内会連合会と協議する予定。	完了 アンケート調査を分析し、今年度中に自治活動交付金のあり方に関する素案を作成し、町内会連合会と協議する予定のため。

【専門部会評価】

- ・完了…検討内容につき、担当課及び専門部会が達成したとみなした場合、「完了」とする。
- ・検討継続…令和6年度以降も、引き続き、担当課について継続検討するもの。

1	子どもひろば事業(直営事業) ※和光(黄金)地区、柏地区、恵み野地区は、指定管理者制度導入済
---	--

担当課	検討内容
子ども政策課	子どもひろば事業と学童クラブ事業の一体化並びに民間委託の手法(指定管理者制度、事業委託)について検討すること。
平成 30(2018)年度評価	
1次評価 (担当課)	学童クラブの民間委託を推進し、その後、子どもひろばの民間委託を検討する。
2次評価 (専門部会)	学童クラブの全委託化が令和2年度を目処としていることから、学童クラブとの一体化が馴染むか検討しながら、子どもひろばの方向性を確認する。
令和4(2022)年度評価	
進捗状況 (担当課)	「こがね」「かしわ」については令和4年度より指定管理者による運営に移行。「えにわ」「しままつ」について、指定管理者の実績等を踏まえ、令和5年度に民間委託を検討する。
専門部会評価 (8月)	「こがね」「かしわ」の状況を踏まえ、次年度以降も「えにわ」と「しままつ」について民間委託を検討していくことから『検討継続』とする。
行革推進委員 意見(12月)	市内で子育て事業に取り組む思いがある事業者を行政が育てることも必要。プロポーザルでの選定評価の仕組みを考える際に地元市民の意見を取り入れるなど地域要件を取り入れてはどうか。

■令和5(2023)年度 進捗状況と今後のスケジュール

進捗状況 (担当課)	市直営の子どもひろば(えにわ・しままつ)については、市直営の子育て支援センターと併せて、プロポーザルによる事業者選定を行い、令和6年度から民間委託を実施予定。				
年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
計画		指定管理者による運営(「こがね子どもひろば」「かしわ子どもひろば」)			
			プロポーザルによる事業者選定	民間委託による運営 「えにわ子どもひろば」「しままつ子どもひろば」	

■令和5(2023)年度 専門部会評価

進捗確認評価 結果	<完了> 民間委託の手法の検討を終え、次年度から民間委託することとなった為、専門部会での進捗確認は終了。
--------------	---

2	子育て支援センター事業(直営事業) ※和光(黄金)地区、柏地区、恵み野地区は、指定管理者制度導入済
---	---

担当課	検討内容
子ども政策課	早急に民間委託に向けて調査研究を行うこと。
平成 30(2018)年度評価	
1次評価 (担当課)	平成 30 年度に道内 34 市に調査依頼を実施する。
2次評価 (専門部会)	平成 31 年度に民間委託の検討を行うことから、当該方向性を確認し完了とする
令和4(2022)年度評価	
進捗状況 (担当課)	子育て支援センター黄金・柏については、令和 4 年度より指定管理者による運営に移行。直営 3 か所(柏陽・島松・恵庭)については、令和 4 年度は直営で実施。指定管理者の実績を踏まえ、令和 5 年度に島松・恵庭の民間委託を検討する。柏陽については、当面は直営で実施。
専門部会評価 (8月)	今年度から導入した「黄金」「柏」の状況を踏まえ、次年度以降も直営2箇所(島松・恵庭)について民間委託を検討していくことから『検討継続』。
行革推進委員意見 意見(12月)	市内で子育て事業に取り組む思いがある事業者を行政が育てることも必要。プロポーザルでの選定評価の仕組みを考える際に地元市民の意見を取り入れるなど地域要件を取り入れてはどうか。

■令和5(2023)年度 進捗状況と今後のスケジュール

進捗状況 (担当課)	市直営の子育て支援センター(柏陽・島松・恵庭)については、市直営の子どもひろばと併せて、プロポーザルによる事業者選定を行い、令和 6 年度から民間委託を実施予定。					
年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	
計画			指定管理者による運営(子育て支援センター黄金・柏)			
			プロポーザルによる事業者選定	民間委託による運営 (子育て支援センター柏陽・島松・恵庭)		

■令和5(2023)年度 専門部会評価

進捗確認評価 結果	<完了> 民間委託の手法の検討を終え、次年度から民間委託することとなった為、専門部会での進捗確認は終了。
--------------	---

3	窓口サービス改善検討
---	------------

担当課	検討内容
各窓口担当課 情報政策課	窓口業務のワンストップ化、委託化など検討すること。 ※委託化については、偽装請負など課題があることから慎重な検討が必要。
平成 30(2018)年度評価	
1次評価 (担当課)	ワンストップ化可能事務等を庁内照会し調査研究する。
2次評価 (専門部会)	窓口ワンストップ化については、窓口委託と併せて検討すべき。
令和4(2022)年度評価	
進捗状況 (担当課)	ワンストップ窓口についてはおくやみ窓口が今年度から本格実施。窓口サービス推進会議等で引き続き検討し、キャッシュレス決済の導入に合わせた証明書発行窓口の統一化の検討を行っている。行政手続きのオンライン化については、各担当所管課と連携を図りながら、今年度策定予定のDX実施計画に基づき、推進していく予定。
専門部会評価 (8月)	キャッシュレス決済の導入に合わせた証明書発行窓口の統一化の検討や更なる行政手続きのオンライン化を推進することから『検討継続』とする。
行革推進委員 意見(12月)	庁内の横の連携を図りながら、直営で窓口サービスを早急に進めていくことが必要。

■令和5(2023)年度 進捗状況と今後のスケジュール

進捗状況 (担当課)	令和5年度よりキャッシュレス決済を会計課、市民課、債権管理課で運用開始。また令和5年度中に市民課証明書発行業務で「書かない窓口」を導入予定。あわせて窓口担当課によるワーキング会議を開催しワンストップ化についても検討していく。				
年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
計画	おくやみ窓口導入検討		おくやみ窓口本格運用		
	証明書発行窓口の統一化検討		書かないワンストップ窓口の検討		
	オンラインによる行政手続きの導入				

■令和5(2023)年度 専門部会評価

進捗確認評価 結果	<完了> 今年度よりキャッシュレス決済は会計課、市民課、債権管理課で導入済み。また、市民課において書かない窓口も導入予定のため、専門部会での進捗確認は終了。
--------------	---

4 自治活動交付金の見直し(高齢者割)

担当課	検討内容
生活環境課	高齢者割は「75才以上の高齢者数」に単価(@1,300円)を乗じて算出。 高齢化に伴い、高齢者割の廃止または算出方法の変更検討。 ※令和2年度より高齢者割@1,235円に改定(5%減)
平成30(2018)年度評価	
1次評価 (担当課)	現状で縮小又は廃止については困難。
2次評価 (専門部会)	少子高齢化により、交付金対象者が増加していくことが想定されることから、交付上限額等の設定を今後検討すべき。
令和4(2022)年度評価	
進捗状況 (担当課)	自治活動交付金の制度見直しに向け、必要な施策や事業などを検討するにあたり、町内会・自治会に関するアンケート調査を実施する(2,000名対象、発送:8月末、回答期限:9月末頃)。アンケート結果を踏まえ、町内会連合会と協議し、自治活動交付金のあり方を検討する予定。
専門部会評価 (8月)	今年度アンケート調査を実施し、自治活動交付金のあり方を検討することから『検討継続』とする。
行革推進委員 意見(12月)	高齢者と地域の子どもが一体となり行事等に使う等、次年度に向けて交付金の使い道についても議論して欲しい。

■令和5(2023)年度 進捗状況と今後のスケジュール

進捗状況 (担当課)	自治活動交付金の制度見直しに向け、必要な施策や事業などを検討するにあたり実施した町内会・自治会に関するアンケート調査及び町内会・自治会への支援策に関する道内他自治体調査の結果を踏まえ自治活動交付金のあり方に関する素案を作成し、町内会連合会と協議する予定。				
年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
計画					

■令和5(2023)年度 専門部会評価

進捗確認評価 結果	<完了> アンケート調査を分析し、今年度中に自治活動交付金のあり方に関する素案を作成し、町内会連合会と協議する予定のため、専門部会での進捗確認は終了。
--------------	--